

# 総合的な治水対策の目標の考え方

平成26年11月20日

近畿地方整備局・京都府・福知山市

# 弘法川及び法川流域における整備目標(案)の設定

- ・ 平成26年8月豪雨が、局地的、集中的、かつ激甚であったことに加え、由良川流域(福知山市域)の地形的な特徴等を踏まえ、弘法川及び法川流域における整備目標(案)を次の通り設定

- 短期の対策(概ね5ヶ年程度を想定)の考え方

平成26年8月豪雨と同程度の降雨が発生した場合での床上浸水の概ね解消を目指し、由良川本川の整備状況を踏まえつつ、総合的な内水対策を実施する。

そのための対策と役割分担等について、国・府・市で協議、調整中。

- 中・長期の対策は由良川本川の整備状況や、由良川流域全体の対策の進捗を踏まえ検討

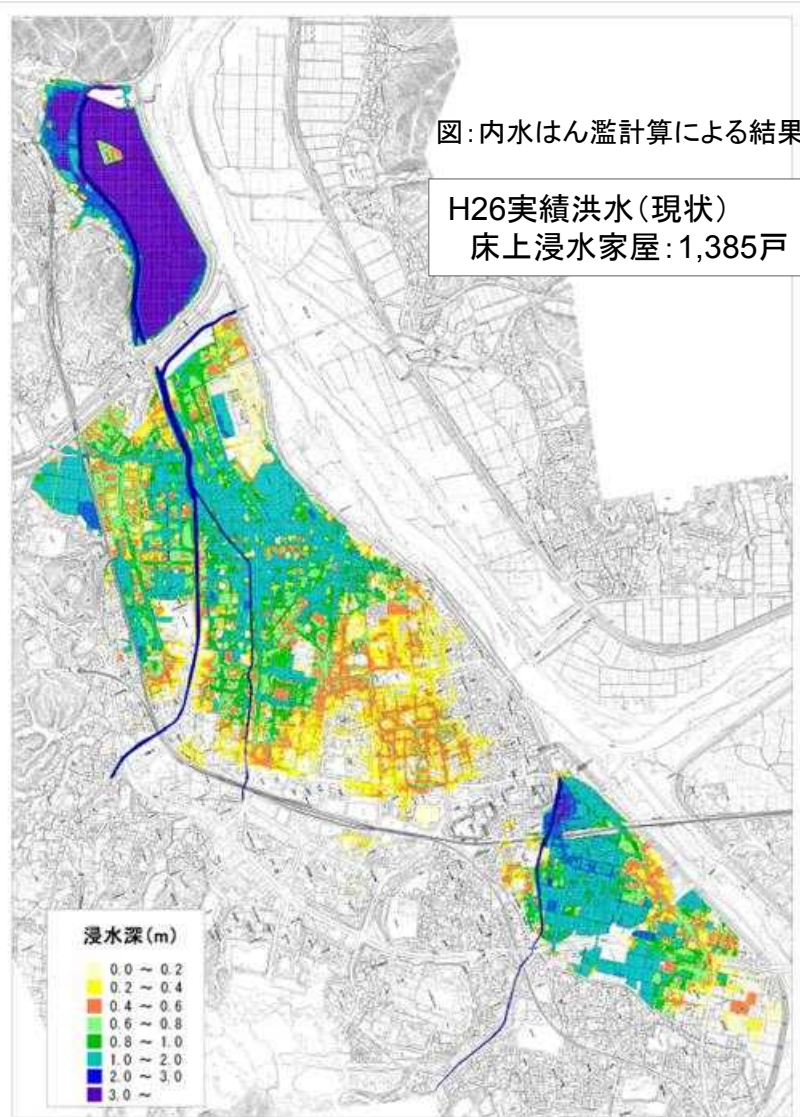
# 短期の対策(概ね5ヶ年程度を想定)の方針(案)

- 短期の目標を達成するための対策と役割分担(事業主体、河川事業又は下水道事業等)について、国・府・市で協議、調整中

	区分	現況	対策の組合せの考え方(案)
ハード対策	排水ポンプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水機場: 27m<sup>3</sup>/s (常設22、救急5)</li> <li>和久市ポンプ 8.4m<sup>3</sup>/s</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水機場増強: 約 40m<sup>3</sup>/s (常設ポンプ、救急ポンプ等)</li> <li>排水ポンプ車ピット新設: 約10m<sup>3</sup>/s相当</li> <li>排水機場機能高度化(耐水化他)</li> <li>和久市ポンプ場増強・耐水化</li> </ul>
	河川改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>弘法川 L=1.9km</li> <li>法川 L=0.2km</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>弘法川 L=3.0km</li> <li>法川 L=1.4km</li> </ul>
	貯留施設等	<ul style="list-style-type: none"> <li>貯留管 1.8万m<sup>3</sup></li> <li>調整池等 8万m<sup>3</sup></li> <li>オンサイト貯留 0.2万m<sup>3</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>貯留管新設: 約 1万m<sup>3</sup></li> <li>調節池、調整池及びため池改良等: 約40万m<sup>3</sup></li> <li>オンサイト貯留: 約 2万m<sup>3</sup></li> <li>既設下水道管増強</li> </ul>
ソフト対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各戸、事業所等の耐水化</li> <li>○保水力の回復・増進 <ul style="list-style-type: none"> <li>各戸における貯留浸透施設等や開発に伴う調整池設置等の促進</li> <li>ため池の保全等</li> </ul> </li> <li>○その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>水位計及びCCTVカメラの設置による監視体制の強化</li> <li>内水ハザードマップ作成等による避難警戒意識の啓発等</li> </ul> </li> </ul>		

# 短期の対策を実施した場合の被害軽減シミュレーション

- 短期の対策を実施した場合、浸水被害エリアが大幅に解消され、床上浸水被害が概ね解消。



平成26年8月豪雨と同程度の降雨が発生した場合、「床上浸水が概ね解消」される

\* 現地精査の結果、シミュレーション結果に変更が生じる場合があります